

バスラ日誌 (6月1日)

- 1 先日、1日の業務を終えて、2415頃宿泊コンテナに戻ると同部屋の某1尉(本人の名誉のため、本名は伏せさせていただきます。)が、手にモップを持ち、ベッドの上にあぐらを掻いて神妙な顔をしている。異様な雰囲気私に「どうしたんだ」と聞くと、「侵入されました。」と一言。何1軍関係者しか宿泊していないこんなところで泥棒騒ぎか!なんてことだろうと思い、「何、取られた」と聞くと、「いいえ、ネズミに侵入されました。」と拍子抜けする回答。彼曰く、「2200頃帰ってきて、ドアをあけると目の前にネズミがいました。これはやばいと思い、追い出そうとしましたがどこに行ったか分かりません。こうやって出てくるのを待っているところです。」、私「そんなにでかいネズミなの。」、彼「いえ、これくらい(約5~6cmくらい?)です。」、私「そんなの、ほっときゃいいじゃん。」、彼「えー、さん、イヤじゃないんですか。」、私「そんな小さかったら、かじられてもたかが知れてるだろ。」、もしかして、ネズミが怖いのか。」、彼「...どちらかと言えば、怖いです。」。とりあえず夜も遅く、明日の業務に支障が出るといけないので、不確定状況を嫌がる某1尉を説得してそのまま寝ることにした。
- その後、ネズミは出てこないのだぶん追い出すことに成功していたのだろう。寝る前に某1尉は、ネズミに侵入されたと思われる経路(コンテナの隅にネズミが通れそうな隙間ができていた。)を一生懸命塞いでいた。何が起ころうとボーとしていたような彼が、小さなネズミ1匹を怖がって私の帰りを待っていたのが、滑稽というか、かわいらしいというか、新たな一面を発見した気分である。そういえばこの前は、今怖いものは、「ロケット、雷、班長、先輩」などとバスラ日誌に書いていたような気がする。ネズミは4位以内に入っていないのにあの怖がりようなので、まだまだ私の怖さは不足しているようだ。班長の明確な方針の下、「怖いもの順位:第4位」の名に恥じないよう、ピシシ指導していきたいとの気持ちを新たに(半分冗談、半分本気です)。
- 2 今頃、タリルにいるはずの[]は、元気になっているだろうか?明日のヘリはまだ確定してはいないが、連絡によると無事に過ごしているようである。今回タリルにおいて、宿泊・食事等自分達で調整した彼らは、既にタリルLO要員として登録されたことだろう。怪我の功名ではないが、ころんでもたけで起きない我ら日本隊としては、また人的戦力が充実したことになる。
- 3 本日快晴、バスラ4名、極めて健康。



スミッティLO日々業務報告(6月1日)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし [] Threat Level []
2 特記事項	(1) 衆安隊長・政策アドバイザー等がキャンパススミッティを訪問、TFMCO・AMTG2CO・英豪POLAD等と会談を実施 (2) サマーワ市内で発生した爆発音事案に関して重点的に情報収集を実施
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ市内で発生した爆発音事案関連、サマーワ市内等の治安情勢、デモ関連情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 明日以降の豪軍支援要請関連、TFMCO・AMTG2CO・AMTG3CO等サマーワ宿営地訪問関連(2日)、QDG Administration Office関連、CIMIC関連等 (3) 各種ミーティング等 英豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 RANGE1: CRG(小火器) 0800~1200